

卒業・就職関係アンケート(2022年度実施)

調査目的: 卒業時に学生生活、学修成果、就職についての満足度を調査することにより、教育内容の検討や改善のために役立てることを目的とする。

調査実施日: 2023年1月12日～2023年1月23日

調査対象: 栄養学部 2023年3月卒業予定者

調査方法: Forms(Teams)にURLを投稿)

回答率

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
卒業者数	536人	241人	99人	70人	126人
回答者数	485人	224人	88人	63人	110人
回答率	90.5%	92.9%	88.9%	90.0%	87.3%

【参考】2021年度の全卒業生に対する回答率: 88.2%

質問1. あなたの学生生活を総合的にみた満足度について教えてください。

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	67.8%	64.7%	71.6%	79.4%	64.5%
どちらとも言えない	29.1%	30.8%	27.3%	20.6%	31.8%
不満	3.1%	4.5%	1.1%	0.0%	3.6%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【参考】2021年度調査

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	69.2%	73.8%	71.3%	69.2%	58.4%
どちらとも言えない	28.3%	24.8%	25.7%	26.9%	38.1%
不満	2.5%	1.4%	3.0%	3.8%	3.5%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問2. 入学してから今までにあなた自身が学修した成果について満足していますか？

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	74.0%	71.0%	71.6%	84.1%	76.4%
どちらとも言えない	24.5%	25.9%	28.4%	15.9%	23.6%
不満	1.4%	3.1%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【参考】2021年度調査

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	74.6%	79.4%	69.3%	71.2%	71.7%
どちらとも言えない	24.2%	19.6%	28.7%	28.8%	26.5%
不満	1.3%	0.9%	2.0%	0.0%	1.8%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問3. 大学での学びは、仕事に活かせると思いますか？

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
思う	89.1%	89.3%	93.2%	93.7%	82.7%
どちらとも言えない	10.5%	9.8%	6.8%	6.3%	17.3%
思わない	0.4%	0.9%	0.0%	0.0%	0.0%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

【参考】2021年度調査

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
思う	87.7%	91.6%	96.0%	94.2%	69.9%
どちらとも言えない	11.5%	8.4%	3.0%	5.8%	27.4%
思わない	0.8%	0.0%	1.0%	0.0%	2.7%
無回答	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%

質問4. 就職先決定時の満足度

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	86.2%	86.9%	95.8%	69.4%	86.4%
どちらとも言えない	13.6%	13.1%	4.2%	30.6%	12.6%
不満	0.2%	0.0%	0.0%	0.0%	1.0%

※調査時に就職先が決定している学生のみ回答

【参考】2021年度調査

	全体	実践栄養学科	保健栄養学科 栄養科学専攻	保健栄養学科 保健養護専攻	食文化栄養学科
満足	87.3%	81.4%	94.0%	88.6%	92.9%
どちらとも言えない	12.4%	18.0%	6.0%	11.4%	7.1%
不満	0.2%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%

【卒業時調査分析結果】(2022年度実施)

質問1. 学生生活を総合的にみた満足について教えてください。

全体では、「満足」が、昨年度に比べ1.4ポイントダウンし67.8%、「どちらとも言えない」が0.8ポイントアップし29.1%、「不満」が0.6ポイントアップの3.1%となり、昨年と比べ若干ではあるが下振れた結果となった。

実践栄養学科では「満足」が64.7%と9.1ポイントダウンし、「どちらとも言えない」が30.8%で6.0ポイントアップした。「満足」と回答したものは「学びたかったことが学べた」「管理栄養士として必要な知識を身につけることができた」「切磋琢磨できる友人と巡り会えた」という意見が複数あった。これに反して「どちらとも言えない」と回答したものは、「コロナ禍で活動に制限があった」等の意見が多かった。

保健栄養学科栄養科学専攻では「満足」が71.6%と0.3ポイントアップし、「学生生活が充実していた」「実習が多く実践力が身についた」との意見が多数あった。一方、「どちらとも言えない」が27.3%で1.6ポイントのアップとなり、前述の実践栄養学科と同様に「コロナの影響」を記述した者が多数いた。

保健栄養学科保健養護専攻では、「満足」と回答したものは79.4%で10.2ポイントアップした。「養護教諭になるという目標が達成できた」「学びたいことが学べた」という意見が多かった。「どちらとも言えない」は20.6%で6.3ポイントのダウンとなった。食文化栄養学科は、「満足」と回答したものが64.5%で6.1ポイントアップし、「授業やゼミなどが充実していた」「食に対し幅広くクリエイティブに学べた」等の意見があった。「どちらとも言えない」が31.8%で6.3ポイントダウンとなった。「コロナ禍での学びは難しく、制限もあった」という記述が目立った。

質問2. 入学してから今までにあなた自身が学修した成果に満足していますか？

全体では、「満足」が74.0%で昨年度に比べ0.6ポイントダウン、「どちらとも言えない」が24.5%で0.3ポイントアップ、「不満」が1.4%で0.1ポイントのアップとなり、全体としては、実践栄養学科の満足度が若干下がり、他の学科・専攻の満足度が上がったという結果になった。

実践栄養学科では「満足」と回答したものが71.0%、意見としては「たくさん学べた」「専門的な知識を身につけることができた」との意見が多数あった。一方、「どちらとも言えない」は25.9%という結果で、「もう少し深く学んでおけば良かった」「100%の力で取り組んでいなかった」等でもっと積極的な学びができたのではという意見が目立った。

保健栄養学科栄養科学専攻では「満足」が71.6%で「資格が取得できた」「多くのことを学べた」という記述が多かった。また「どちらとも言えない」は28.4%で「もっと学

べばよかった」との意見があった。

保健栄養学科保健養護専攻では、「満足」が84.1%で「養護のみならず、食の知識、技術についても学ぶことができた」「実践的な内容が多く力がついた」、「どちらとも言えない」は15.9%で「もっと努力できた」との意見がそれぞれあった。

食文化栄養学科では「満足」が76.4%で、「食についてさまざまな面から学ぶことができた」との意見が多かった。「どちらとも言えない」は23.6%で「3、4年でもっと学びたかった」との意見があった。

質問3. 大学での学びは、仕事に活かせると思いますか？

全体では、「思う」が89.1%で昨年度に比べ1.4ポイントアップ、「どちらとも言えない」が10.5%で1.0ポイントダウン、「思わない」が0.4%で0.4ポイントダウンだった。

学科・専攻毎でも、「思う」と回答したのは、実践栄養学科89.3%、保健栄養学科栄養学専攻93.2%、保健栄養学科保健養護専攻93.7%、食文化栄養学科82.7%と高い割合であった。意見としては、共通して「資格職で働く」「食関係の食に就く」等、学びを活かした職に就くという記述が目立った。

「どちらとも言えない」は、実践栄養学科9.8%、保健栄養学科栄養学専攻6.8%、保健栄養学科保健養護専攻6.3%、食文化栄養学科17.3%で「実践の場でどう活かせるか分からない」等の意見であった。

質問4. 就職先決定時の満足度

全体では、「満足」が86.2%で昨年度と比較すると1.1ポイントダウン、「どちらとも言えない」が13.6%で1.2ポイントダウン、「不満」が0.2%で昨年並みの好結果になった。

「満足」と回答したのは、実践栄養学科86.9%、保健栄養学科栄養学専攻95.8%、保健栄養学科保健養護専攻69.4%、食文化栄養学科86.4%と好結果を収めた。

「どちらとも言えない」は、実践栄養学科13.1%、保健栄養学科栄養学専攻4.2%、保健栄養学科保健養護専攻30.6%、食文化栄養学科12.6%であった。

「満足」と回答したものの理由は、「第一希望に就職できた」「希望の職種に就けた」、「どちらとも言えない」は「第一希望に就職できなかった」等の理由が多かった。

学生はそれぞれが大学での学びを活かした専門性の高い就職を実現させており、「満足度」も高い割合に留まった。